

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3143029号
(U3143029)

(45) 発行日 平成20年7月10日(2008.7.10)

(24) 登録日 平成20年6月18日(2008.6.18)

(51) Int.Cl. F 1
B 6 O S 1/04 (2006.01) B 6 O S 1/04 A

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 実願2007-9349 (U2007-9349)
(22) 出願日 平成19年11月6日(2007.11.6)(73) 実用新案権者 507398512
坂上 安司
北海道上川郡美瑛町本町3丁目2番21号
(72) 考案者 坂上 安司
北海道上川郡美瑛町本町3丁目2番21号

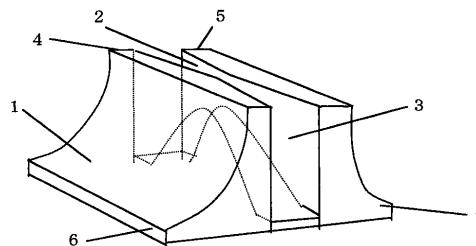
(54) 【考案の名称】 ウインドガラス・ワイパー保護用具

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】カーワイパーブレードを交換する時、簡単かつ安心して取り替えることが出来る保護用具を提供する。

【解決手段】車両等のカーワイパーブレードをウインドガラスから浮かせ、ウインドガラスの破損を防止するとともに、ウインドガラスに粘着することを防止する為の合成樹脂製の保護用具であって、本体中央にワイパーアームの形状の溝2, 3を設けた事の特徴とする。4, 5の厚さが違う為本体を反転する事により、多種の車両に装置が可能になる。また、6, 7の形状により本体自体が倒れにくくなっている。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

車両等のカーワイパーブレードをウインドガラスから浮かせ、ウインドガラスの破損を防止するとともに、ウインドガラスに粘着することを阻止する合成樹脂製の保護用具。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、車両管理に用いるワイパーに関する

【背景技術】

【0002】

従来、ワイパーブレードの交換はアームを立てて取り替えてなければならない。

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0003】

カーワイパーブレードを交換する時、立てていたアームが衝撃により倒れ、ウインドガラスを破損させる事がある。

【0004】

ワイパーブレードが夏季にウインドガラスに粘着する事がある。

【課題を解決するための手段】

【0005】

カーワイパーのアームの部分に図 1 の保護用具を取り付け、ワイパーアームの戻りを止めウインドガラスの破損を防御する。

【考案の効果】

【0006】

またブレードを交換する時も、簡単かつ安心して取り替えることが出来る。

【考案を実施するための最良の形態】

【0007】

以下、本発明の実施の形態を図 1 に基づいて説明する。

【0008】

本体は合成樹脂緩衝材であり、この本体 1 の中央にはワイパーアームの形状の溝が 2・3 に設けられている。

【0009】

4・5 の厚さが違う為此の実施形態によれば本体を反転する事により、多種の車両に装置が可能になる。

【0010】

また、6・7 の形状により本体自体が倒れにくくなっている。

【図面の簡単な説明】

【0011】

【図 1】本考案の実施形態を示す鳥瞰図である。

【図 2】本考案の装着実用例を示す鳥瞰図である。

【符号の説明】

【0012】

1 本体

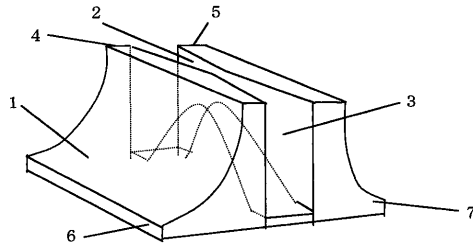
10

20

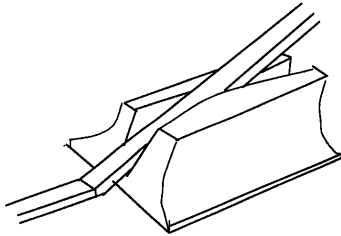
30

40

【図 1】



【図 2】



【手続補正書】

【提出日】平成20年1月24日(2008.1.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

車両等のカーワイパーブレードをウインドガラスから浮かせ、ウインドガラスの破損を防止するとともに、ウインドガラスに粘着することを防止する為の合成樹脂製の保護用具であって、本体中央にワイパーアームの形状の溝を設けた事の特徴とする。

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月4日(2008.4.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

車両等のカーワイパーブレードをウインドガラスから浮かせ、ウインドガラスの破損を防止するとともに、ウインドガラスに粘着することを防止する為の合成樹脂製の保護用具であって、本体中央にワイパーアームの形状の溝を設けた事の特徴とする保護用具。